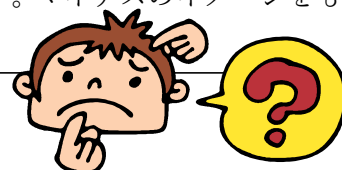


【少人数教育の充実のために～複式指導の充実～】

新型コロナウイルス感染症の予防対策のための臨時休業から学校再開が見えてきました。休業中の学習・生活指導から、再開後の学習指導へ徐々にではありますが学校の取組が変わってきているかと思えます。今回は、域内の実態である少人数による指導についての情報です。参考になればと思います。

南会津域内は、令和元年度複式学級が小学校 10 クラス 中学校 1 クラスでしたが、本年度は、小学校 17 クラス 中学校 1 クラスとなり、**複式での指導の充実が大切**となっています。

ところで、「複式学級での指導」と聞いて、どのような印象を持ちますか。マイナスのイメージをもつ指導者とプラスのイメージをもつ指導者、どちらが多いでしょうか。



<マイナスとなる要因>

- 単式での指導経験しかない方が多い。
- 複式指導の指導方法がわからない。→複式指導のあり方がイメージできない指導者が多い。
- 複式指導解消加配の活用方法が、単式での指導に重きをおいている。

ネガティブに考える要因としては、上記内容が考えられます。

一方で、ポジティブに考えると以下のようなことがプラス面で考えられます。

<複式指導のプラス面>

「個別最適化」

- ◎ じっくり個で考える時間がとれる。
- ◎ 手をかけることが必要な子供には手をかけ、じっくり考えたい子供は考えさせる。
→課題の個別化も可能
- ◎ 個での学ぶ時間が多いため、「学び方」を身につけることができる。

指導者として、**●ネガティブな面をまず頭に思い浮かべていませんか。**

まわりの先生方（管理職を含め）は、**◎ポジティブな面を実現するための声かけを指導者に対し行っていますか。**

マイナスイメージでのスタートでは、よりよい教育は難しいと考えます。複式編制での指導の良さを生かした実践が今後の「南会津ならではの教育の実現」につながると考えます。

そのために、事務所としては以下のような取組を現在計画中です。（※今後新型コロナウイルス感染症拡大の予防の観点から変更もあります。）

- 複式指導の研修（授業作りセミナーでの実践紹介・域内の複式指導の情報共有機会の設定）
- 複式指導解消加配の効果的な活用について、配置校の実践紹介
→「複式指導のあり方」をイメージすることができようにする。
- ICT を活用した授業（「一人学び」「遠隔地との合同学習」等）
→複式指導のマイナス面の克服
※ぜひ 学校教育課だより第92号で紹介したオンライン環境の整備を。

「複式指導に対する意識改革」(管理職と指導者)と「複式指導のメリットを生かした『南会津ならではの少人数教育(複式指導)の共有』を進めていきたいと考えます。

【複式指導実践講座 NO,1】



域内の少人数教育の充実に向け、特に複式指導について事務所から情報を発信していきたいと考えています。複式編制ではない学校にあっても、少人数での学級編制である本域内の実情を考えると参考になるものが多いと考えます。

第1回目は、「複式学級における学習指導の基本的な考え方」です。

なお、参考資料は、北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター 「へき地・複式学級における学習指導の手引き」(平成31年3月)です。

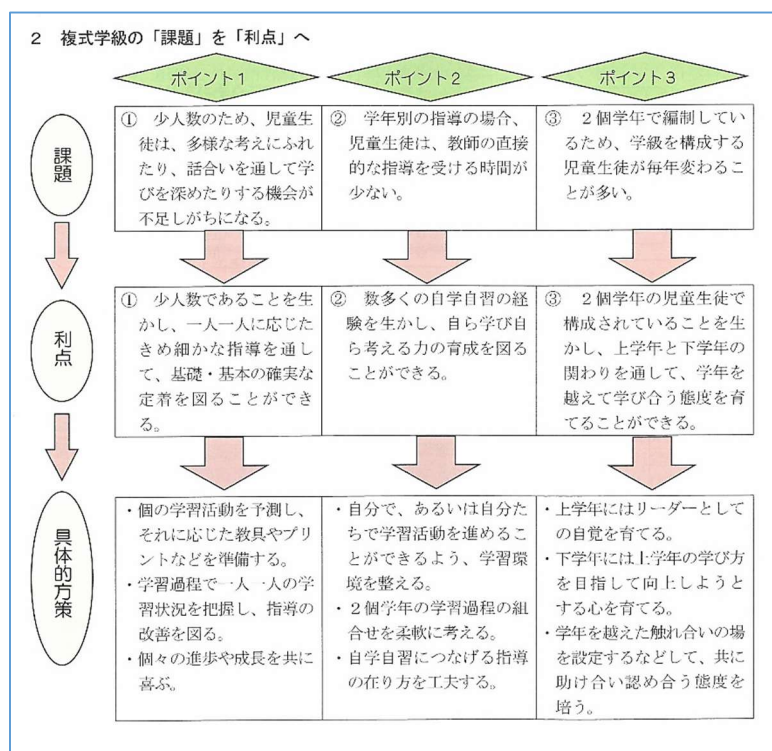
複式指導を行うにあたり、今までの指導と比較し、それが実践できない点を課題として捉える傾向があります。その点を「利点」として捉え直し、日々の実践に生かすと、以下のように整理できます。

<引用「へき地・複式学級における学習指導の手引き」P17>

「個別最適化」と先にプラス面に記しましたが、ポイント1と2では、このことが実現できるよう「具体的方策」が例示されています。

また、ポイント3では、学年を超えた「学びの集団づくり」につながるものです。縦割り集団での活動など、通常は意図的に計画していることを、普段の学習でも行っていくことが大切であると示されています。

このようにマイナス面をプラス面に（「ネガティブをポジティブに」・「ウイークポイントをストロングポイントに」と指導者が捉えることが意識改革であり、複式指導を行うにあたり大切にしていきたいところです。



※ 参考資料の北海道教育大の先生を講師に迎え、相双地区では「少人数に対応した教授法に関する教員研修」を実施しています。本年度は、葛尾村を会場に実施する予定（9月29日）です。事務所での予算化はありませんが、地教委の代表教員が研修し、各町村で伝達するなどして、指導力の向上を図ってみたいでしょうか。

【複式指導実践講座】として、今後以下の内容（予定）について発信していきたいと考えています。日々の指導の充実のために、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

- 複式編制での学習過程 ～「ずらし」と「わたり」～
- 直接指導と間接指導
- その他（域内の実践・教育課程編成）

本資料の他に、県教育センターの研修資料を参考に域内の子供たちのための教育活動の充実をお願いします。

福島県教育庁南会津教育事務所
学校教育課

TEL 0241-62-5255

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

